

教育目標「かしこく たくましく あたたく」【一人一人が学ぶ喜びを実感し、笑顔あふれる学校】



せなみっこ

第10号

令和6年1月30日

村上市立
瀬波小学校



瀬波小HP



災害に備える「心の訓練」

1月23日に新潟県防災リーダーで防災士の山脇 正隆様を講師に招き、地震発生を想定した避難訓練を実施しました。能登半島の大きな地震の後ということもあり、子どもたちは真剣な表情で行動したり、話を聞いたりしていました。

山脇様からは、突然起こる災害では「まず、訓練を思い出し、心を落ち着かせることが大切」という話がありました。子どもだけではなく、私たち大人も突然の災害に遭遇したときは冷静に対処することは難しいものです。しかし、訓練を重ね、「心を落ち着かせること」で正しい避難行動をとることができるようになります。心の訓練による学びを生かし、正しい避難をすることが命を守る可能性を高めることにつながります。さらに、心を訓練するだけでなく「自分の地域の避難訓練はいつか」「災害時どこに逃げるのか」といった具体的内容を家族で確認、共有することも大切だと教えていただきました。大きな地震を実際に体験した後の訓練だからこそ、子どもたちも感じる、考えることがいくつもあったのではないかと感じています。

次の時間に行った防災教室（4学年対象）では、市のハザードマップやハンドブックなどを用いて避難訓練、家族会議、地域行事、継続的な防災学習の重要性について学びを深めました。



訓練後、地域ごとに振り返り

～ 大谷翔平選手からの贈り物 ～

瀬波小学校にもグローブが届きました。手にした子どもたちからは「かっこいい!」「軽くていいね」「大谷選手のおいがするかも!」などの声が挙がっています。

大谷選手の「グローブに込められた願い」をきっと感じとってくれることでしょう。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちに野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムを紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。

野球しようぜ。

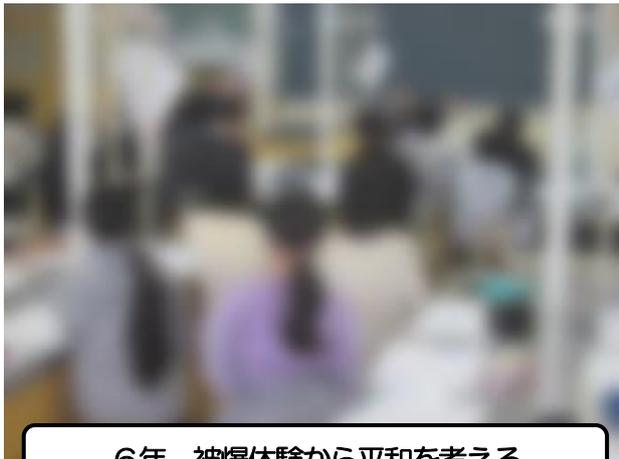
大谷 翔平



大谷選手からの
手紙



せなみっこフォトギャラリー 2024



6年 被爆体験から平和を考える



どんなに寒くても ~昼の体育館~



4年 避難訓練後の防災教室 ~ハザードマップをもとにした「備え」~



3年



1年

校内書き初め大会



5年



2年

